

進路だより

No. 8

進路指導部

大学入試センター試験が行われます

No.7では、「1. 四年制大学の種類」と「2. 学費の話」から、国公立大学への進学を希望する受験生が多いというお話をしました。実際にセンター試験を受験した場合、今年度のながれは次の通りです。

3. センター試験を受験するまで

①検定料の払い込み 9月1日～10月7日

2教科以下 12,000円 3教科以上 18,000円を各自で払い込む。

このとき、受験教科数を決定しておかなければならない。

②出 願 平成28年9月27日～10月7日

自分の志望する大学のセンター試験で必要とする科目を登録しておく。

理科・地歴公民の受験科目数など（当日の変更はできません）

③試験会場 和歌山県の場合は和歌山大学/向陽高校/桐蔭高校/近畿大学生物理工学部の4カ所

④志願者数 全国で563,768人（昨年度）

④試験日程

試験はすべてマークシート方式。5者択一がほとんどだが、数学では出てきた答えをマークする。

平成29年1月14日（土）			平成29年1月15日（日）		
地歴公民	9:30-11:40	2科目受験	理 科 ①	9:30-10:30	（基礎科目から2つ）
	10:40-11:40	1科目受験	数 学 ①	11:20-12:20	（数学Ⅰまたは数学ⅠA）
国 語	13:00-14:20		数 学 ②	13:40-14:40	（数学Ⅱまたは数学ⅡB）
外 国 語	15:10-16:30	筆記	理 科 ②	15:30-17:40	2科目受験（発展科目）
	17:10-18:10	リスニング		16:40-17:40	1科目受験（発展科目）

4. センター試験を受験後

センター試験の自己採点し、志望校を決定する。国立大学の場合、個別（2次）試験は基本的に、前期日程で1校、後期日程で1校しか受験できません。（同じ大学を受験してもかまわない）私立大学は個別試験がなく、何校出願してもかまわない。（受験料は必要ですが）

5. 最後に

国公立大学を希望する場合、5教科の勉強をして、センター試験を受けなくてはなりません。私立大学の場合は3教科で受験することができます。学費の安い大学に行きたいのは、どの受験生も同じです。限られた時間の中で、自分に適した勉強方法を確立してください。また、大学によって多くの受験方法があるので、興味を持ったら、パソコンやスマートフォンを使って自分で調べたり、担任の先生や進路指導室に相談してください。